

Peace of Galactic Cluster

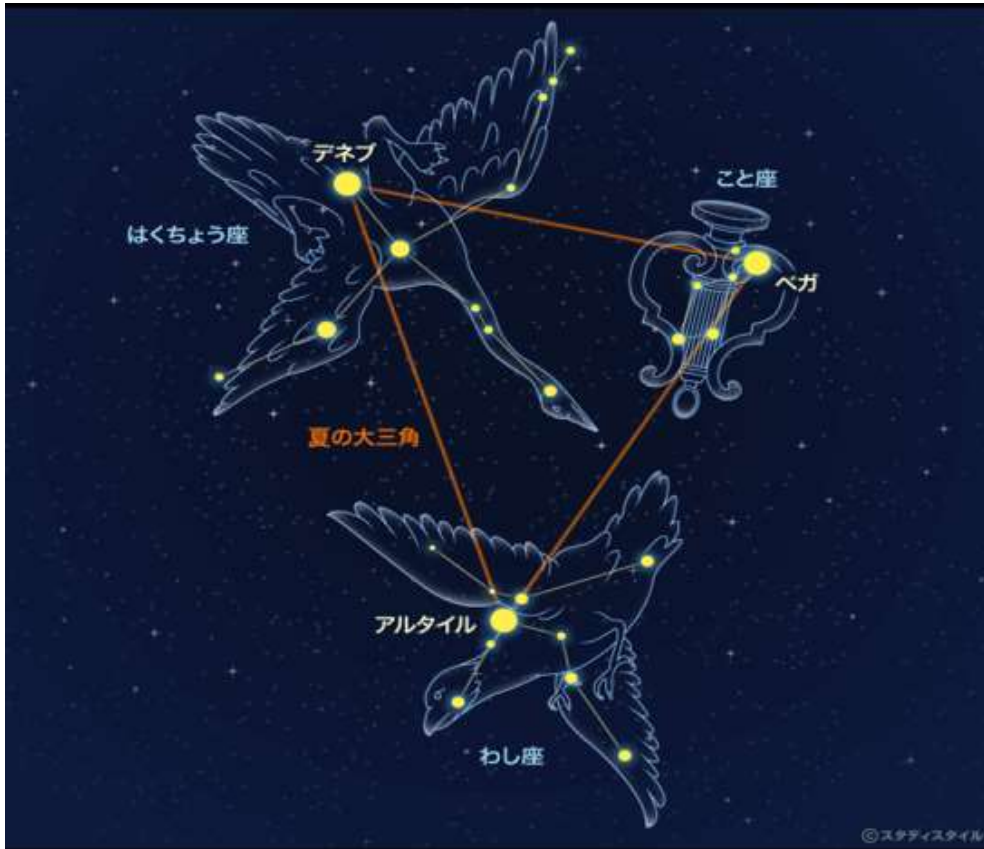
天の川銀河 1 白鳥の六芒星物語



いて座 わし座 白鳥座 ペガサス座

ケフェウス座 小熊座 へびつかい座 りゅう座

2013年7月～8月



あなたにこの宇宙でも大切な、大きな白鳥のエネルギーについての話をしましょう
もっとも大切なのは、ベガ（こと座）や デネブ（白鳥座）、そしてアルタイル（わし座）で構成される夏の
大三角形と呼ばれる星座群ですが、この星座群はさらに、ポラリス（北極星）やラスアルハゲ（へびつかい座）、
エニフ（ペガサス座）などの星を巻き込んで、大きな白鳥の六芒星と呼ばれる星座群を作っています。

此の星座の中心であるベガとデネブは、この宇宙に偉大なる愛と神聖さ、覚醒をもたらす星です。
多くの星がこの2つの星と協力し合いながら、この宇宙の豊かな成長を保持してきました。
そしてこの星と特に関係が深い、星がポラリスなどの星です。

ポラリスは、この星たちの光りに創造主へと向かう方向性と深いつながりをあたえます。
創造主のエネルギーが、この大きな白鳥に流れ込み、彼らの力をより神聖なものとします。
ポラリスは、アンドロメダの星と同じように、創造主が、叡智ある星の人達と共同でこの宇宙の創造と維持の
ために働きかける場所です。

とても高次元の星であり、創造主に近い偉大なマスター達が生まれ育つ星でもあります。
銀河連合を含めた多くの星の中心となる場所でもあります。
ベガとデネブは、創造主の光を2つに分かち合って自らの星へと導きました。

こと座のベガは、主に霊的な成長を起こす覚醒の光りです。
自らの魂とスピリットを成長させ多くの生命のために奉仕できるような魂を生み出します。

白鳥座のデネブは、優雅さと美しさです。創造の偉大さを伝える光です。
この宇宙が創造され、芸術的とも呼べるような美しい創造物が生み出されました。
その光は、私達の心とスピリットを安らがせ、創造主との統合を図っていきます。

デネブから大きく羽を開いた場所にあるのが、ペガサス座のエニフです。
このエニフにあるペガサス騎士団は、皆さんもよくご存じのようにこの宇宙の調和を守るために、愛をもって働いています。
この大きな白鳥だけでなく、調和と正義が求められる場所には、彼らは惜しみなくサポートを行います。

またペガから羽を開いた場所にあるのは、へびつかい座のラスアルハゲ。
言うまでもなく、この宇宙の癒しと神聖さを保持する場所です。
この宇宙における癒しのエネルギーは、この星とも深いかわりを持っています。

そしてこれらのすべてのエネルギーが集まる場所が、アルタイルなのです。
大きな白鳥の足元に当たり、すべての光りがここにつながっています。
創造主の偉大なる光を、まっすぐに受け止め、覚醒の光、美しさの光、力強さの光、癒しの光をこのアルタイルが、一つにまとめて、新たな光に統合し、この宇宙の星々へと送っていく働きがあるのです。

しかしながら、このアルタイルは、おごり高ぶったアルタイル星人によって、その光が変質してしまいました。
アルタイルは、ほかの星を支配し自らの下部組織にしようと画策をしていました。
もちろんその過程で、彼らは闇の力と一つになり、自らの神聖さを失ってしまったのです。

そのためにこの大きな白鳥のエネルギーは十分に機能せず、宇宙の平和と神聖さも薄れてしまいました。
アルタイルも荒廃し、その星の光りは失われました。

大きな白鳥をつかさどる星たちも、アルタイルとの通路を閉ざしてしまったために、その起点を失い、お互いがばらばらになってしまいました。

私達は再度、この大きな白鳥の神聖でパワフルな光のエネルギーを取り戻さなければなりません。それができるのは、この物理次元によって多くの異なる星の次元に入れる皆さんたちだけなのです。

この大きな白鳥の光りが再びつながったときには、私が前に伝えたように、光の洪水が、地球のみならず、この宇宙にももたらされるでしょう
私達があなた方を育て、ここまで導いてきたのは、まさにこのためなのです。

この大きな白鳥のエネルギーは、太陽系に向かい、まず太陽に入ります。
この太陽によって、地球にふさわしい強さと質の光りに変容されます。
もちろん、この太陽系の中心である太陽のスピリチュアルな世界に、この白鳥の光りがもたらされるということは、大変に重要な意味があります。

現在この太陽系にはアーデティヤ神群がいますが、彼らも孤独なのです。
今は彼らのことを理解し、そのもととなるペガやデネブなどの、大きな白鳥のエネルギーと彼らを繋いでくれる人体がないからです。

アルタイルが力を失ったことで、アルタイルから太陽、そして地球に送られていた母性としての太陽神の力は失われてしまいました。

その結果、地球においては、母性や女性性は傷つけられ、男性や男性性が有利となってしまったのです。此の大きな白鳥から送られてくる創造神や天照のエネルギーによって、アデティーヤ神群も再び力を取り戻すでしょう。

そして皆さんが、この太陽から地球に、白鳥のエネルギーをもたらすことができる大きな光の通路を、繋ぐことによって、アデティーヤ神群の力は再び強まり、地球に母性としての太陽の愛をもたらすことでしょう。

それが、この地球と宇宙に大きな影響を与えている「闇」の力を統合していくための大切な道筋であると思われます。

今回の仕事では、アルタイル以外の星は、皆さんにとってとても友好的な星ですので、問題はありませんが、アルタイルだけは、注意して騎士団を共につれて行ってください。



白鳥の六芒星物語 PART 2 旅の始まり 大切な仲間たち

今回はベガとデネブを中心とした六芒星の光りの通路を開くための旅の始まりです。

今回の目的は、闇の力の支配を受けるアルタイル星を光の星に戻すことによって、大きな白鳥の六芒星を再び光の六芒星に戻し、創造主の愛と調和の光をこの地球並びに宇宙全体に取り戻すことです。

そのために、ベガとデネブを中心としてすべての星を繋ぎ巨大な光の通路を作ります。

この地球も、現在さらに混迷を深め、多くの事件が多発しています。

これらの星が、一つになり光の通路ができることにより、とても大きな光が地球におくられ、地球を取り囲む闇の力も弱まり、人々の心に愛の力が呼び戻されることとなるでしょう。



○ベガ星 天照大御神の星

ガイアの神殿から最初に向かったのは、こと座のベガでした。

ベガは私達にとっては、最もなじみ深い星で、天照大御神、天のウズメ、大国主、サラスバティ様と私達が行っているアチューメントのマスターの多くがこの星からきていらっしゃいます。

今回の「宇宙の光」の活動に関しても、天照大御神様からの呼びかけで始まったことを思えば、私達の活動を導いてきたのは、まさにこの星であるといえます。

ベガ星はアンドロメダの星々とも仲が良いのですが、このベガの特徴は、非常に人間の感性に近いことです。それは、このベガによって、人間が形作られ、ベガの星に似せて地球が創られたことからもうかがえます。

まずベガ星へは、ガイアの神殿から光の通路を抜け、ベガ星のクリスタルのゲートに入ります。ゲートを出ると、そこは風が吹き抜けるような草原です。野には花々が咲き乱れ、遠くに山も見えます。

私達がゲートを抜けると、いつも天照様が迎えてくれます。そして最初に行くところは、私達の魂を癒す「天照の泉」です。この泉は、私達の魂を浄化し、様々なカルマやトラウマ、そして心の傷を癒してくれる場所です。私達は、ゆっくりと水につかり、心も体も、そして魂も静かに癒されていく事を感じます。

この天照の泉を出た後に、天照さまは深い森を抜け、「生命の源の森」に連れて行ってくれました。まるで屋久島の森のように、静かに自然が息づいています。そこから多くの植物や生物たちが生まれてくるようなかすかな音がします。地球の生命の樹とも、深いところにつながっているようです。まさに惑星の子宮とも呼ぶべき場所です。私達は、しばらくの間、この森で自分の生命を癒しました。

さてこれから旅の出発点である天照大御神様の神殿へと向かいました。天照大御神様の神殿は森を抜けた場所にあり、堂々とした立派な神殿です。神殿の中には、天照様だけでなく、サラスバティ様や天のウズメ様達もそろっています。

私達はここで、愛のトライアングルの女神様直伝によるアチューメントをお願いしました。アチューメントが終了すると、私達の輪の中央には、煌々と燃える大きな炎がありました。私達は、これからの旅のためにその炎を分け合って、ハートの中に入れました。この儀式の後、私達は光の通路をへびつかい座のラスアルハゲへと作りました。天照様より、ハートに光を受け、水晶のエネルギーを送り込むと光の通路が、ラスアルハゲ星へと向かってつながりました。

へびつかい座は、へび(へび座)にからみつかれる医神アスクレピオスの姿を表した星座です。

夏の夜、さそり座の上がへびつかい座です。

音楽の神アポロンと人間の間にも生まれた

アスクレピオスは、

医者として多くの人々を救いました。

しかし、人間はいつかは死ぬもの。

アスクレピオスは不老不死を求めて

研究を重ね、ついに死者をよみがえらせることが

できるようになりました。

死者の国を司る神々は、これに怒り、

アスクレピオスを殺して星座にしたと言われています。

ラス・アルハゲには、アスクレピオス様の

癒しの神殿があり、私達に癒しと

生命力の向上をもたらします。

今回も多くのマスターの傷を癒してくれました。

ラス・アルハゲ α

ケバルライ β



○癒しの星 へびつかい座のラスアルハゲ星

へびつかい座のラスアルハゲ星にたどり着いた所、最初は惑星がイリージョン（幻影）で守られていました。へびつかい座のマスターである医師アスクレピオスの「アスクレピオスの杖」のイメージをハートのたいまつ

の明かりと共に送るとその霧のようなイリージョンはなくなりました。

その霧の後ろに現れたのが、まさに長老のようなアスクレピオスさまでした。

とても優しく静けさが漂うそのお姿は、癒しの天使「ラファエル」を想像させます。

実際お話を伺うと、ラファエル様とのつながりはとても深く共に活動されているようです。

このラスアルハゲに降り立つと、静かで優しい波動が満ちています。癒しの神殿に案内してもらいました。

周りを黒猫たちがついてきます。マスターによるとここの住人は猫の姿をしているそうです。

この地球でも猫たちは癒しの象徴として活躍していますから同じですね。

さてアスクレピオス様の癒しの神殿は、とても美しい柱が立ち並ぶギリシア神殿のようです。

神殿の中央付近には、温泉のようなところがあり、私達はそこに体を沈め、心と体を癒しました。

ここにはよくペガサス騎士団の人達なども、傷を癒しに来るそうです。

そして神殿の奥の部屋には、クリスタルで囲まれた大きな部屋があります。

中央には緑色の大きな石が置いてあり、私達はそこに座るととても大きなパワーが、胸の中に入ってきます。

アスクレピオス様が、私達のハートに光を入れて、ハートの力を活性化させているようです。

このアスクレピオスの癒しの神殿は、私達の体を癒すだけでなく、エネルギーをどんどんパワーアップさせていく働きもあるようです。

私達はここに光の通路を開いた後、ベガに戻り、そこから白鳥座のデネブに光の通路を開きました。



○フェアリーワールド 白鳥座のデネブ星

白鳥座のデネブ星に通路が開くとそこは美しい高原の村の様です。

まるでアルプスの少女ハイジが出てきそうです。

周りには花々が咲き乱れ、遠くには美しい山々が連なり、静かで美しく荘厳な世界です。

歩いていくと、半透明の姿の女性や小さくてかわいいフェアリー達も見えてきます。

花の影からは、ホビット達ものぞいているようです。

まさにここはフェアリーランドです。

ディズニーの映画に出てきそうな、輝くばかりの美しさと優しさに満ち溢れた世界でした。

私達は、フェアリー達に導かれて、美しい神殿に入りました。

そこにはフェアリーの女神が気品あふれる姿で立っていて私達を迎えてくれました。

「私達の魂の内側にある美しさが、この地球の美を想像します。

皆さんの心の中にある世界が、この世界を創造するのです。

皆さんの心の中にある美しい世界を失わないでください」

と私達に大切なメッセージをいただきました。

そしてフェアリーの女神は、私達を神殿の奥庭に導いてくれました。

そこには、屋久島にある「聖老人」と呼ばれる縄文杉のような古くてどっしりとした木が立っていました。

「この木はこの惑星の命と繋がっています。

私達一人一人はこの惑星の命を分かち合っているのです。

どうかあなた方も、この惑星の命と一つになってください」
とおっしゃいました。

私達は、頭を木の方に向け、木を取り囲むようにして、横になります。

私達とその木の周りを多くのフェアリーたちが大きく取り囲み、女神の祈りと共に祈り、歌い、踊り始めます。
まるで映画の「アバター」のような世界です。

私達の体も揺れ、私達の中に波のように惑星の意識が入ってきます。

私達と惑星は一つ

私達と惑星はつながり、共に満ち溢れる

私達は、フェアリーの女神によって、惑星意識と一つになるイニシエーションを受け取りました。

またこのフェアリーの女神アルターニャは、私達の心に、愛と美を見失わないように、光も送ってくれます。





ペガサス座は、翼が生えた天馬(てんま)の姿を表した星座です。秋の大四辺形を形作る大きな星座です。ギリシャ神話では、勇者ペルセウスが魔女メドューサの首を切り落とした時に、流れ出た血から生まれた天馬がペガサス座になったと言われています。その後、ペガサスは神話の中でも様々な活躍をしています。

ペガサス座は、この宇宙でも有数の騎士団で、私達と地球の守護をしてくれるペガサス騎士団の聖地です。アルゲニブがその聖都。マスターはすべてペガサスです。シェアトは、ペガサス座の入り口。騎士団の星。マルカブは、秘密基地です。アルフェラッツは、アンドロメダ座に属しますが、創造主がいる星で、このペガサスの四辺形を通して宇宙を見守っています。今回の闇の封印はここで行われました。エニフは、ペガヤデネブの「白鳥の六芒星」を形作る星で、アンドロメダやペガサスと白鳥を結ぶ交点です。

©スタディスタイル

○闇の力を食い止めるペガサス ペガサス座のエニフ

ペガサス座のエニフ星は、白鳥の六芒星の中では、わし座のアルタイルのすぐ横に位置します。そのために、闇の力の支配により荒廃させられたアルタイル同様に、闇のエネルギーが入ってきています。しかし、この星の偉大なる惑星意識であるペガサスが闇の力を自分の体で受け止め、必死に惑星を守っていますが、全身疲労し、体もまだら色になっています。

最初にエニフ星についたときは、深い溪谷の様子が映りました。それは映画の「ロード・オブ・ザ・リング」で出てくるような、フェアリーたちの隠れ谷の様です。谷の崖沿いにフェアリーたちの宮殿があります。空にはペガサスが飛んでいることから、フェアリー達とペガサス達が共生している星かもしれません。そこには、赤い服を着た女神がいます。

彼女が谷底で眠るペガサス（ヒュードラ）のもとに案内してくれました。私達は女神やペガサス軍団、フェアリーたちをお願いして、ヒュードラの癒しを行いました。

この白鳥の六芒星を完成させ、アルタイルを光の星に戻すためには、なくてはならない存在です。今回のツアーの後にも、何度かヒュードラのもとに行き、アスクレピオス様やスサノオの尊様の力を借りて癒していきました。

○こと座のベガとスラファト星

スラファト星は、こと座を形作る星で、ベガの対極にあります。
この星に着いたら、待っていたのは、大天使ラジエル様でした。
ラジエルさまはカバラの生命の樹でも、メタトロン様に次ぐ場所におられる
座天使の長で、「秘密の領域と至高の神秘の天使」の称号を持つ天使様です。
彼は他の天使達の知らない地上と天界の全ての秘密を知り尽くしている方ですね
その方が、ベガの光を増幅させ、天使の光りと共に、アルタイルにおくる準備をしていました。
私達が来たら一言「遅かったね！」最高の仲間が増えました。

○白鳥座のサドル星・アルビレオ星

白鳥座にもいくつもの星があります。
丁度十字の中央にあるのが、サドルという星です
この星は海の中の世界です。ドルフィンやクラゲ、魚がいて
非常に透き通った生命体が存在しています。
導かれるままに、海の底にある貝でできた神殿のような場所に行きました。
そこで透明のビーナス様のような女神と話をし、このサドルという星が、
女性性の象徴でありハートのエネルギーに関係していること、
デネブとの光が一つになることで、愛と生命と美の力が広がってくることを教えていただきました

白鳥座には、もう一つくちばしにあたる場所にアルビレオという素晴らしい星がありますが、
ここは今荒野でした。岩人間のような存在がいて、かつてこの星に知性がある生命が住んでいたのですが
隕石の衝突により、星の環境が変化して、ここから立ち去ったということでした。
この時ナスカの地上絵が現れたので、もしかしたら、ここに住んでいた人がナスカの地上絵を作ったかもしれ
ません

○へびつかい座のラスアルハゲとヘラクレス座のラスアルゲティ

ここはとても仲の良い星で、アスクレピオス様に誘われて、ラスアルゲティへと渡ってみました。
そこに待っていたのはまさしく勇者ヘラクレス様です。しかし最初彼は自分のことをヘラクレスとは名乗らず
に、ほかの名前を名乗りました。
どうも調べていくと、ヘラクレスという名前は「ヘラの栄光」という意味です。
ヘラは、ヘラクレスを不幸に追いやったゼウス神の妻ですので、この「ヘラクレス」という名前は、彼にとっ
ては、大きな呪縛を表すものです。
私は、彼の本名である「アルケイディス」という名前でも彼を呼び、彼の呪縛を解き放ちました。
それ以来、彼は、私にとってなくてはならない親友となり、これからの苦難の旅を大きくサポートしてくれる
大切な仲間となったのです。

白鳥の六芒星物語 PART 4 北極星の創造主

○ベガ星 マスターベガの登場

私達は、再度大きな白鳥の秩序を取り戻すために、ベガに向かいました。ベガで、天照の神殿に向かったところ、私達の正面で待っていたのは天照様ではなく天照様の意識を抱合する大きなマスターであり、ベガの星のすべてを守るという女性のマスターでした。

彼女はベガの惑星の意識に近い母性的なエネルギーを持つ存在です。

そのマスターオブ・ベガは、自分がベガの星から動けないために、天照の意識を作り出し、天照をとおして私達を導きサポートしていたということです。

またベガから地球に来ているマスター達は、ベガの自然を神格化したもので、海であれば、サラスバティ様、太陽であれば天照大御神、月であれば月読の尊、火であれば素戔鳴尊、自然の実りであれば大国主様というようにベガの自然界の波動を神格化してこの地球に伝え、地球とベガの波動を同調させていたということも伝えていただきました。

人間が生み出された目的は、物理次元の制約が多い地球で、自らの目的の為に苦労しながら生きていく事によってその魂を飛躍的に成長させる為のものであることを教えていただきました。

地球特有の物理次元を持つことによって、人は様々な次元の存在や星の人達と出会い、多くのことを学ぶことができるそうです。

この地球の人類は、多くの星の人達の共通の子孫として、星の人達がともに育む存在であるために、多くの星の女神やマスター達がサポートに来ているようです。

私達は、マスターベガからの大切なメッセージをいただいた後に、マスターベガからとても大切な光をいただき、天照様たちと共にベガを出発しました。

○白鳥座デネブから小熊座のコカブ

今回の目的は、白鳥座から創造主がいると思われる小熊座のポラリス（北極星）へと向かうことです。

さすがに北極星までは遠く、次元もかなり異なるので時間がかかりますが、途中で小熊座のコカブ星に入りました。

ここが、北極星の入り口の様です。

最初暗くて、周りの状況が見えなかったのですが、マスターベガに頂いたコインをかざすと朝焼けのような美しい光景に変わり、コカブ星の容姿が見えてきました。そこに現れたのは、ティディベア。さすが小熊座デス

このコカブ星のマスターはとてもユニークな方で、コカブ星の中に宇宙の図書館があるらしく日本のこともよくご存知でした。

私達が日本から来たとわかると、新聞紙で折った紙の兜（昔子供の日に作ってもらった）をかぶって見せたり、自分の名前を、小熊に乗った金太郎をもじって、金太郎と呼んだりしていました。皆さん爆笑でした。

宇宙にもこんな茶目っ気のあるマスターがいるなん驚きでした。

そして金太郎マスターは、私達を叡智の図書館に連れて行ってくださり、自分にとって必要な情報を持ってい

くように伝えてくれました。

私達は、自分達のハートに必要な情報をどんどん入れて持ち帰ることにしました。



○北極星の創造主と出会う

コカブ星から、さらに光の通路を作り、私達は北極星へと入りました。

北極星に入ると荘厳な光のドームに迎えられ、そこから創造主のもとに瞬間移動を行います。

創造主は神々しい光に包まれ、とても偉大で大きな存在です。

最初は、創造主の足の親指くらいしか見えません。

創造主は、私達をその掌にすくい取り、自分の顔の所まで持ち上げてくれましたので、ようやくその顔を拝見することができました。

創造主は、私達を迎え入れ、私達に宇宙の話をしてくださり、また私達一人一人にもメッセージをいただきました。

創造主様は、私達の額に特別な印を作ってくださいたり、私達の光を強化し高めてくれました。

皆さん、そのすごいエネルギーに汗が流れおちているようでした。

この後は、創造主のポラリス星(北極星)から、ベガへの光の通路を作りました。

これでベガ-デネブ-ポラリス星というきれいな二等辺三角形の光の通路ができて、この3つの星の間にエネルギーが循環できるようになりました。

そのためか、ベガに帰ってきたときに、マスターベガの姿が、一回り大きく、また輝きもまたよくなりました。

白鳥の六芒星物語 PART5 大天使ラジエル様と光の六芒星

○ベガの高次元の世界に導かれる

今回はお昼のクラスで再びベガに向かいました。

ベガに向かうと、いつもの様子と少し異なります。

天女のような方が、ひらひらと空から降りてきて、私達を山の頂へと導いていきます。

今日は、ケフェウス座のアルデミランとりゅう座のツバーンに向かう予定だったのですが、何が起こるのか、全く予測できないままに、天女たちについていきます。

山の頂に神社のようなものがあり、まさに奥宮のような雰囲気です。

中に入ると禊の水のようなものがあり、私達は、その水で心と体を清めます。

この時皆さんが、白装束に包まれていました。

その禊の水の上には、白い光が満ちていて、どんどん上の世界に続いているようです。

私達はどんどん上がっていくと、まるで山の頂にある高い展望台のような場所につきました。

私達の眼下には多くの星々が輝いています。とても高い次元に来たことがよくわかります。

メンバーは意識を保つことが困難になるくらい、すごい光で包まれていたようです。

そこに数名の神様たちが現れました。

以前太陽でコンタクトをとったアデティーヤの神様たちです。

アユールベータなど多くの宗教のもととなった神様たちのグループです

その中の1人、インドラ様よりメッセージをいただきました。

「私達は地球に、もっと多くの光を送りたいのだが、皆さんの意識がまだ低すぎるので十分に光を送ることができません。皆さんは、しっかりと自分のエゴを捨て、意識を高めてください」

アデティーヤの神様達は紀元前までこの地球を導いてくれた神様で、その主要なメンバーであるミトス様は、地球の別次元であるシャンバラを統治していらっしゃるようです。

彼らの教えが、神秘主義やカバラの基本を作っていることも教えてくださいました。

アデティーヤの神様達とは、あとでこのベガから太陽そして地球への大きな通路を作ることになりました。

○大天使ラジエル様と光の六芒星

そして現れたのが今回の主役ともいえる大天使ラジエル様、カバラの樹でも最高位のメタトロン様の次に位置する偉大な天使で、この宇宙の神秘をしり、秘密の領域を管理する偉大な天使です。

大天使ラジエルは、私達に「魔法を使いなさい」といってくださり、私達が魔法を自由に使えるように、ハートに光を与えてくれる共に、魔法のワンドをあたえてくださりました。

大天使ラジエル様は、こと座のスラファト星で昨日お会いして私達の活動をとても楽しみに待っていてくださったことを伝えてくれました。

今日は、私達の活動をサポートして、さらに高次元のものにするために現れてくれたようです。

ラジエル様は、この白鳥の六芒星を繋ぐものとして、通路ではなく光の面でつなぎなさい。
光の面は、簡単に魔法で作れるよとおっしゃって下さいました。

まず最初に、昨日作ったベガーデネブーポラリスの二等辺三角形をすべて光で埋め尽くし、光の二等辺三角形を作りました。

次に各辺から反対側に面をひっくり返すようにして、ベガーデネブーアルタイルを光の面でつなぎました。
同じように繰り返していくと、白鳥の六芒星すべてが光の面につながり、私達が、真下に見ている宇宙の中に巨大な六芒星の光の海が広がりました。

もちろんアルタイルも、この光の六芒星の中に入りますから、アルタイルもすでに光の中に包まれました。

これで、この白鳥の六芒星の中にある星のすべてに自由に行き来ができるようになります。
そして、この高次元に創った光の六芒星のエネルギーを、どんどん下の次元にまで降ろしていきます。

私は先ほどまで、アルタイルに光の通路を作ると、アルタイルの闇の力に知られるからどうしよう。
アルタイルの星から少し離れた上空にこっそりと通路を作り、それをどのように隠そうか、などとず一つと真剣に考えていましたが、この大天使ラジエル様の魔法による「光のフロアー」が一気にできてしまい、それが各次元に広がることにより、私の心配も全く無駄となりました。
というか、圧倒的な大天使のパワーと知恵に、ただ感心するばかりです。

この高次元の場所に最初に「光のフロアー」ができることにより、下の次元で何が起きようとも、この光のフロアーは消えることがないそうです。
そのために、私達をこの高次元にまで一気に引き上げ、そこで仕事をさせたのだということがよく理解できました。

○光のフロアーを使って創造主のもとに

私達はこの光のフロアーができると、光の面を滑るようにして創造主のもとに行きました。
光りのドームから創造主のもとに着くと、丁度創造主のお顔のあたりにでました。
やはり高次元のフロアーだと違いますね。

創造主様は、昨日はひげを生やしたおじいちゃんだったのですが、今日は聖母マリア様と若い男性のようなお姿に見えます。

これは、創造主の特性を二つに分けたほうが活動しやすいということでした。
まさに東洋思想の太極から陰と陽が生まれ、そこから世界創造が行われるという話そのものです。
創造主もやる気モードまんまんという感じですね。

今日も創造主に、私達の額に印をつけていただき、私達に愛にあふれた光をたっぷり満たしてくださいました。



○白鳥座のデネブから、白鳥の中心サドル星・アルビレオ星

白鳥座にもいくつもの星があります。デネブの女王さまと相談して、訪ねることにしました。

丁度十字の中央にあるのが、サドルという星です

この星は海の中の世界です。ドルフィンやクラゲ、魚がいて非常に透き通った生命体が存在しています。

導かれるままに、海の底にある貝でできた神殿のような場所に行きました。

そこで透明のビーナス様のような女神と話をし、このサドルという星が、女性性の象徴でありハートのエネルギーに関係していること、デネブとの光が一つになることで、愛と生命と美の力が広がってくることを教えていただきました

白鳥座には、もう一つくちばしにあたる場所にアルビレオという素晴らしい星がありますが、ここは今荒野でした。

岩人間のような存在がいて、かつてこの星に知性がある生命が住んでいたのですが、隕石の衝突により、星の環境が変化して、ここから立ち去ったということでした。

この時ナスカの地上絵が現れたので、もしかしたら、ここに住んでいた人がナスカの地上絵を作ったかもしれません。

○再び、白鳥座へ十字の光をつなぐ ギエナ星へ

白鳥の六芒星が、大天使ラジエル様の知恵と魔法の力をお借りして光り輝く世界へ変わってから、その中にある星たちの輝きも一段と強くなってきました。

その光のおかげで、白鳥座の北十字星も輝き始めているようです。

以前、デネブのマスターから、白鳥座の翼の位置に当たるギユナ星の様子を見てきてとお願いされていたのでKさんと2人で行って来ました。

白鳥座ギエナ星は、最初は幻影がかかっているうまく入れませんが、創造主の印によって扉が開くと、地下世界が見えてきました。

とても美しい文明都市のような感じです。

地上ではない異なる世界（次元）にある世界の様でした。

ギエナ星のマスターは、その地下都市の中にいらっしゃいました。

闇のエネルギーの影響で、アルビレオ星が隕石の衝突を受け、星としての機能を失った時に、このギユナ星も同じように隕石に見舞われたそうです。

しかしながら、彼らは地下都市を持っていたために、まだこの星で生存することができています。

地下都市は、ある意味、別の次元かもしれません。

○デルタ星とアルビレオ星のマスターの目覚め

ギユナ星の後に、気になっている2つの星にも行ってみました。

一つはギユナ星と対極をなす翼の星デルタ星。そして一度行きましたが、文明が崩壊してしまったアルビレオ星です

デルタ星では、次元の違う森で、鹿にいざなわれて泉に辿り着きました。

そのほとりに、眠っている美しいマスターがいらっしゃいました。

祈りと光、そしてシェンロンの浄化&生命を吹き込む炎で目覚めてくれたようです。

アルビレオでは、石人間のような方に案内されて、地下に降りる階段絵お下って行きました。

そこはピラミッドの内部のような石造りの世界でした。

内部に入ると、王の間のようなところがあり、石棺が5つおいてありました。

中をのぞくと、一つ一つの石棺に、マスターが横たわっています。

シェンロンが今回は豪快に浄化&生命の炎を吹きかけると、マスター達は長い眠りから目覚めていきます。

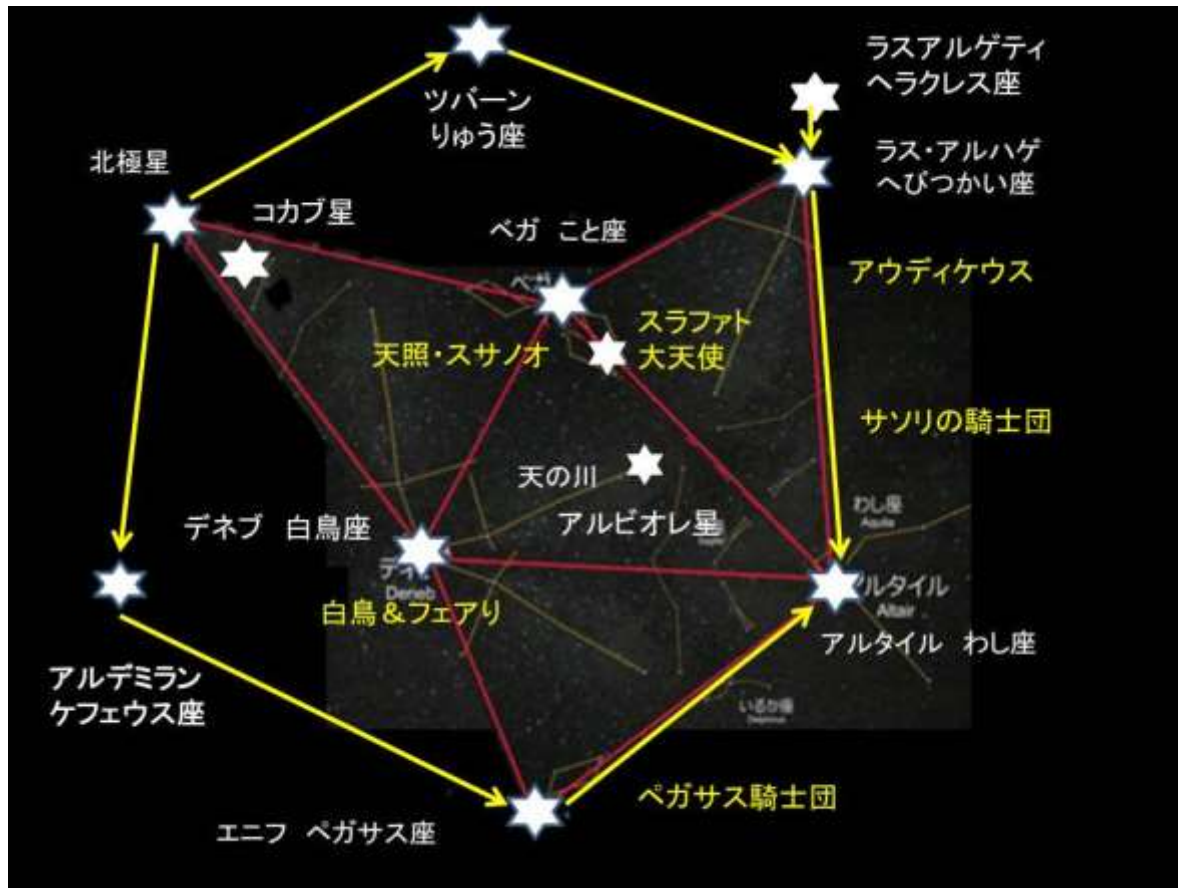
そして、目覚めた5人のマスター達とともにデネブへ向います。

フェアリーの女神様は大歓迎でした。

これで白鳥座の基本となる5つの星のマスターが目覚めると共に、北十字星の輝きに戻ります

この輝きは、アルビレオ星をとおして、アルタイルへと送られることでしょう。

白鳥の六芒星を開く旅 PART 7 白鳥の六芒星、結束を固める



○再びベガへ アルタイル星に光をもたらすために

白鳥の六芒星を開く旅も、今日のツアーで終結を迎える予定です。

地球からも、宇宙の光のお世話係さんを中心に16名&16頭余りのシェンロン達も参加です。そして、白鳥座のペガサス騎士団のアトス隊長やさそり座の騎士団アンタレス隊長も同行します。ヘラクレス座の勇者あるアルケイデース（ヘラクレスの本名です）もいつも一緒です。

今回は、アテナ様、女神セレーネ様などの、プレアディス、シリウス関連のマスターは、大地の女神ガイア様や地球に残ったシェンロン達と共に、この地球からアルタイルに向けて光を送ります。

私達はまずこの地球から、アルタイル星に向かう大きな光の通路を作り、地球からアルタイルに向けて光を送る準備をしました。

今回の目的は、闇によって支配されているアルタイルを光りの星に戻していく事です。

それも闇と戦うのではなく、闇を認め闇に光をもたらすことによって、アルタイルを取り戻していく事になります。

そして、夢の中で見たアルタイル星のマスターを救出することが、私達の使命です。

私達はベガ星に入りました。先日作った光の通路&フロアーによって、白鳥の大きな六芒星の星達が光でつながり輝いています。

この光のフロアーを使うことで、今迄よりも、もっと簡単に各星へと移動ができます。

ベガ星の神殿に降り、マスターベガに挨拶をし、今日の計画について報告しました。

アルタイル星のマスターが閉じ込められていることに関しては、マスターベガもよくご存じの様で、私達がマスターの存在に気づき助けてくれることを心から願っていることを伝えていただきました。

マスターベガは、今回参加してくれたメンバー達に祝福の光を送っていただきました。

ベガの神殿を出て、白鳥の六芒星の結束を固めるために、今迄の星を巡りマスター達と気持ちを一つにしていきます。

メンバーのなかには、まだ宇宙ツアーの経験が少ないメンバーもいるので、各星の様子やそのマスターを紹介する必要もあります。

○白鳥の六芒星の結束を固める

ベガの神殿を出て、最初に向かったのは妖精の星デネブです。

先日、同じ白鳥座のアルビオレ星、ギエナ星、デルタ星のマスター達を目覚めさせると共に、白鳥の光十字の光を取り戻すことによって、白鳥座は、昔ながらの光りに戻ってきているようです。

デネブのマスター、アルターニャのもとにマスター達が集まって、今回の事について話を進めているようです。

特にアルビオレは、アルタイルに一番近い白鳥座のメンバーはここに集結しているようです。

デネブ星のマスターアルターニャ様からも祝福の光を受け取りました。

デネブを出て次ぐに向かったのは、ペガサス座のエニフ星

このマスターであるユニコーンのヒュードラさまは、以前来たときは、闇のエネルギーを、自分の体に引き受けていたせいか、体もまだら模様で弱り切っていました。

その時も、私達のシェンロンやペガサス達が必死で癒していました。

それ以降、私達も何度も訪れ、ベガのスサノオさまの火の浄化やアスクレピオス様の癒し玉をあたえたり、シェンロンやペガサス達も親身になって癒してくれたおかげで、今は美しいきれいなペガサスに戻りました。

ここはペガサス騎士団の精鋭部隊がしっかりと固めています。

○ケフェウス座のアルデミラン 浄化と変容の光

この白鳥の六芒星の輝きを取り戻すために、私達は未だ行ったこともない星に訪ねることにしました。

全く未知の星ですが、とても楽しみです。最初に行くのはケフェウス座のアルデミラン。

この星座は、アンドロメダ座のアンドロメダ姫のお父さんの星座ですね。

その中心に輝くのがアルデミランという星です。アルデミランの星に降り立つとマスターを探します。

現れたマスターは、マスターアルデミランと名乗りますが、本当はもっと異なる存在だと思えます。

マスターはいつも私達がわかりやすい形や名前を使用していただきますが、地球に降りたことのないマスターは、名前が付けられない場合もあります。



このマスターアルデミラン様は、主に癒しと浄化のエネルギーをつかさどる方の様で、闇と光のことについてもかなりお詳しいようです。

決して闇と戦ってはいけない、ということを教えてくださいます。

マスターアルデミラン様は、私達一人一人に浄化と癒しの光を送ってくださいました。

メンバーによっては、体からモクモクと黒い煙が湧き上がってくるように見える人もいますし、体の内側から光が大きく輝き始める方もいます。

それぞれが独自のやり方で、心やスピリットからネガティブなエネルギーを放出してゆく様をお互い見ていました。とても圧巻です。

マスター自ら行うヒーリングは、とても素晴らしいものです。

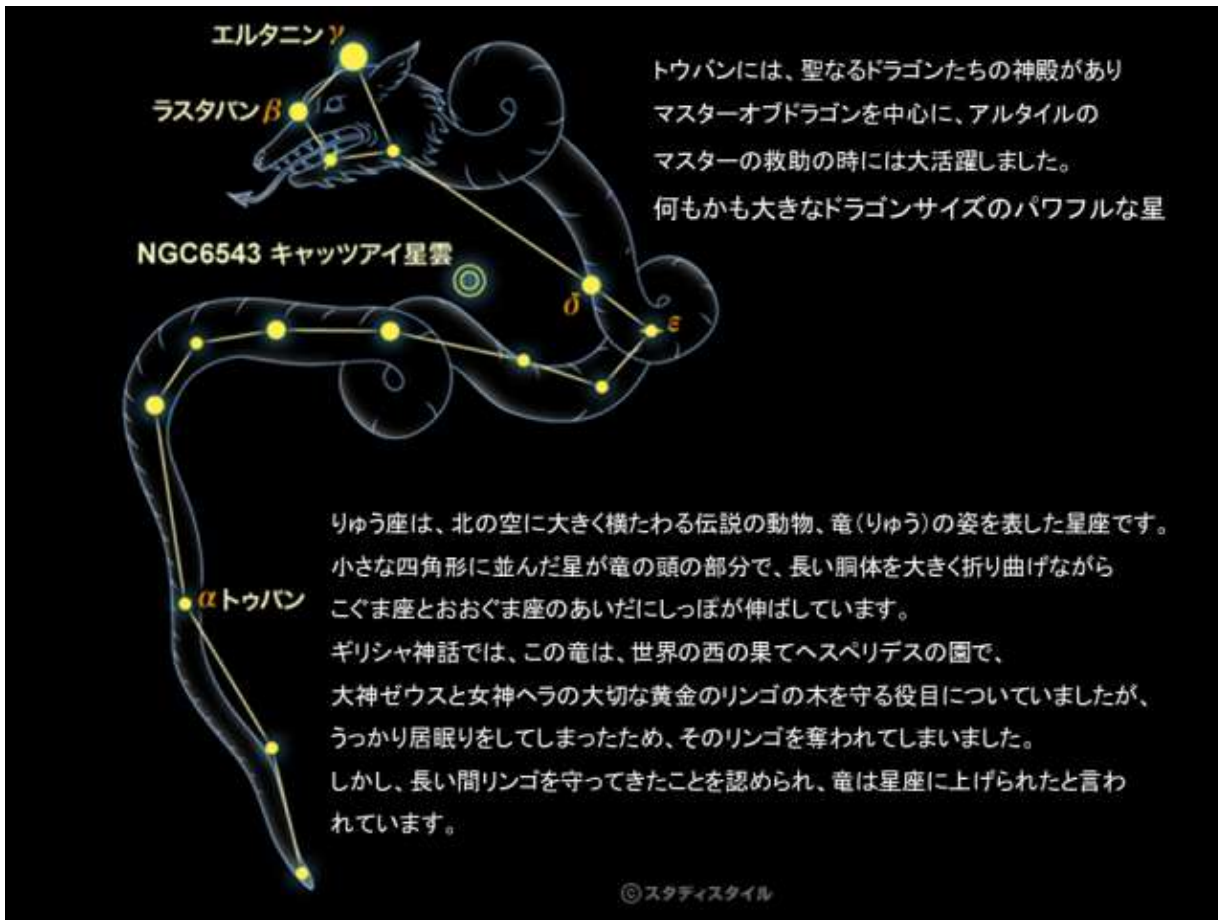
見ているだけで感動すら覚えるくらい美しくパワフルです。

このアルデミラン様の星に入る時、メンバーの一人が、大天使ザキエル様の光の六芒星のサインを見ていたことから、このアルデミラン様は、大天使ザキエル様ではないかと思っています。

大天使ザキエル様はサンジェルマン様とも深く関わりがあり、共に紫色の光を癒しと変容に使用されます。

今回、アルデミラン様のヒーリングを見ていて、サンジェルマン様の変容と統合の光りとの類似性を深く感じました。

今回のツアーでも、アスクレピオスの神殿やビジョン様を助けるときも、サンジェルマン様が活躍してくれています。



○りゅう座 ツバーン星 マスターオブドラゴン

私がこの星の中でも、もっとも行きたかったのが、実はこのりゅう座のツバーンです。
このりゅう座、北極星を取り囲むように大きく広がっている星座です。
おそらく偉大なシェンロン達がいるのではないかと、私は考えていました。

りゅう座のツバーンに降りるとそこはまさにシェンロンサイズです。
大きな溪谷を抜けると広い場所に出ます。
空には大きなシェンロン達やドラゴンたちがゆうゆうと飛んでいる姿が見えてきます。

ツバーンの神殿はとても大きく、その中に偉大なシェンロン達が勢ぞろいしています。
天使の星でも、大聖堂の中を巨大な大天使たちがそろって並んでいましたが、今回は天使ではなく、迫力あふれるドラゴン達が並んでいます。

その中央に、大きな長老のドラゴンがいます。
私達が来ることは分かっていたらしく、喜んで迎えてくれました。
そして、私達のシェンロンも、多くの仲間に出会ったとでもいうように、とてもうれしそうにくつろいでいます。

マスターからシェンロンに関わる多くの話を聞かせていただきましたが、おどろいたことに、私達をここに呼び戻すために、私達のもとにシェンロン達を送って下さったということです。

私達がシェンロンに導かれて、自らを成長させ、このツバーンに戻ってくることを待っていたそうです。

それも今回の、白鳥の六芒星の光を取り戻すために。

もちろんシェンロンの役目はそれだけでは、ありません。

これからトゥバンのマスター・シェンロン達は、私達と同行して共に旅をしてくれることになりました。

もちろんここでも、偉大なマスターによって、私達のシェンロンを多く変容さえていただきました。

メンバーのシェンロンは、もう限界とも思えるくらい大きくなっていたのですが、さらに宇宙サイズと思えるほどに大きくなり能力が高まりました。

○創造主のもとにマスター達が集合

ツバーンのマスターオブドラゴンを最後に、白鳥の六芒星にかかわるすべての星のマスター達がそろいました。

これから、メンバー達で協力してアルタイルへ入り、アルタイルの星へ光を送ります。

もしかしたら、闇の力から反撃を受けるかも知れません。

しかし今回は、創造主をはじめ、多くのマスター達がいるので安心です。

私達は、北極星（ポーラスター）の創造主のもとに集まりました。

創造主は、いつもの老人のような姿ではなく、とても若々しい男性と女性のマスターに分かれていました。

まるで、東洋思想の太極から陰と陽が生まれ、新たな創造活動が始まる時の様です。

創造主もこの方が動きやすいから、と笑っています。

私達のメンバーも創造主の前に勢ぞろいしています。

ベガ星からは、スサノオの尊を中心に天照グループがいます。

デネブからは大きな白鳥に姿をかえたマスターアルターニャ率いるフェアリー軍団

エニフから、真っ白い羽を広げたペガサス騎士団。

ケフェウス座のアルデミラン様は天使の姿で参加。

ラスアルハゲ星からも医師であるアスクレピオス様

コカブ星の金太郎も小熊にまたがって張り切っています。

やはり頭には新聞紙で折った紙の兜と新聞紙を丸めた紙の刀です。（笑）

そして、スラファト星で出会った大天使ラジエル様やミカエル様を中心とした天使たちも大きく羽を広げて集まっています。

圧巻なのは、やはりツバーンのドラゴン達でしょう。

その大きさもパワーも桁違いで、空を飛んでいます。

私達も、18人のメンバーとツバーンほどではないのですが巨大シェンロン達がそろっています。

そして、さそり座の勇者アンタレス様の騎士団とアルケイデイス達もそろっています。

創造主から、私達のメンバーには、額や体に創造主の光の現れであるシンボルをいただきました。

そして創造主からメッセージをいただいた後に、それぞれの星から、アルタイルへと向かい、閉じ込められたマスターの救出を行います。



○アルタイルのトラップを抜けマスターのもとへ

アルタイルの星に、真っ先に入ったのは、ツバーンのドラゴン達でした。
アルタイルの空を飛びながら、光で星を浄化しているようです。
何かを探しているようにも見えますが、ドラゴン達は私達よりも先にアルタイルで活躍しています。

私達は、その様子をしばらく見つめ、ペガサス騎士団に、アルタイルへと入ってもらいました。
デネブのアルターニャも大きな白鳥の姿で、フェアリーたちをたくさん引き連れて星に入りました。
天照様のグループもさそり座のアンタレス様も騎士団を引き連れて、アルタイル星に入ります

私達もアルタイルへ星と入ります。私達は、夢でアルタイル星の女神から、マスターの救出をお願いされてい
ました。

その女神は、自分に残されていたすべての力を使い、マスターが地下にとらわれていることを伝えてきました。
そしてその場所に至る道筋のビジョンを送ってくれてきていたのです。

目標となるのは、闇の六芒星で閉ざされた大地の裂け目です。
先に走るメンバーの一人が、その場所を見つけました。

私達は額の六芒星の光を使い、闇の六芒星を破壊してその裂け目から大地の中に入りました。
中は空洞が広がっています。

私達はシェンロンに乗り、岩と岩の裂け目を抜けるようにして中に入っていきます。
まさに宇宙船で飛び回るスピルバーグの映画の様に、光景が移り変わっていきます。

夢のビジョン通り、大きな岩壁が前に現れてきました。
岩壁の天井部分に、隠れた通路があり、そこを抜けていきます。
次は、水の壁、壁の根元をビジョン通りぬけます。
次は、火の壁、これも壁の根元を通りぬけます
私達が通り抜けた後に、さそり座のアンタレス様はその仕掛けを破壊していきます。
さすが、連戦練磨の強者という感じです。

そして広い空間に出ました。
向い側にある出口には、闇のシールドが張っており、バチバチと火花が散っています。
その中に、マスターが閉じ込められているのは確実ですが、入れません。

困りました。
アルタイルから私にビジョンを送ってきた映像では、この広間にマスターが鎖でつながれていたのですが、さらにトラップが増えたようです。

私達は立ち止まりました。
ここで、私達はメンバー全員の額に指を当て、その闇のシールドに向かって光を放ちました。
するとそのシールドは、火花を散らしながら、少しずつ後退してはじけ飛んで行きました。

私達は中に入ってマスター達を探しましたが見つかりません。
中には、六本の柱が、六芒星を描くように立っていて、ふたが閉められている場所があります。
そこはある意味、石棺のようにも見えます。
私達はその柱の封印を額の六芒星の光りで破ると、そこに地下へと続く階段が現れました。

○アルタイルのマスターの救出

階段から降りると、そこに力なくとらえられたマスターの姿、
金属製の鳥かごのようなものの中に閉じ込められているマスター
本当にどれだけ長い間、ここに閉じ込められていたのだろう。想像もつきません。
私達はマスターをすぐに、自由にしてあげますが、ぐったりとして力がない様子です。

私達は、すぐに名医であるアスクレピオス様に来てもらい、マスターの手当てをお願いしました。
アスクレピオスは、緑の光の玉を使ったりしながら懸命の治療を続けます。
横にサンジェルマンもついているようです。

その間、私達は、傷ついたマスター達の周りを取り囲み、マスターが早く回復してくれるように祈りをささげます。
メンバーの一人が、次のようなメッセージを受け取っています

「これは すべての途上である。
苦しみや痛みを伴わなければ 救われない。
という固定した道筋が、あまりにも嚴重に意識そのものに磔られている。

もう そのステージは終了している。
そこを高く飛び越えてゆく。

礫にされた 意識は解き放たれる
新たな世界はそういう ところであると誓う。
みつめてくれて ありがとう。」

私達が救出を終ると、フェアリー達が早速その洞窟のお掃除をしています。
きっと星の至る所でお掃除や星の光を取り戻すための作業が行われているのでしょう。

このマスターと同じように、閉じ込められていた存在達も、みんなの手によって助けだされているに違いない。
私達は、ようやく安どの笑みを浮かべました。

でも闇の力によって、いったいどれほどのマスターや存在が不幸な目に合っているのだろうか、
其れさえも統合し、光に戻していかなければならないのだろうか、あまりにも辛すぎる。

その場所にマスター達も集まってきました。コカブ星の金太郎もその場にやってきました。
メンバーの一人が、この子は一体何をしているんだろう、と尋ねると、新聞紙で丸めた紙をふりまわします。
そのあまりの可愛さに、みんなで爆笑するのですが、ふとおかしいなと私は思い、金太郎に、あなたの本当の
姿を見せてくださいと頼むと、金太郎は何と、大天使メタトロン様に姿を変えました。

大天使の中でも、最も神に近い、叡智の存在。
みんなのあっけにとられてしまった顔を見ながら、大天使メタトロンは、「よくやった。ありがとう。」褒め
てくれました。

そして、一言「これも試験なんだよ」
試験・・・きっと地球の人類が、他の星のマスターと協力して、自分のためでなく、地球や宇宙の為に働くこ
とができるのか、宇宙の人達を助けてあげるくらいの気持ちと能力があるのか、試されている。

私達にもしその能力も気持ちもないということがわかったら、地球を汚し破壊し続けてきた人類は、この地球
にいる意味がなくなり、地球の次元上昇と共に、すべてが終わる。
大天使メタトロン様の思いが、私のハートに伝わってきます。

今まで地球人のエゴの為に、苦しめられた地球と星の人達。
私にできる事なら、皆さんの為に働きたい
地球に人類をそのまま残したい・・・という思いが、私達の心の中に広がります。



ペガサス座は、翼が生えた天馬(てんま)の姿を表した星座です。秋の大四辺形を形作る大きな星座です。ギリシャ神話では、勇者ペルセウスが魔女メドューサの首を切り落とした時に、流れ出た血から生まれた天馬がペガサス座になったと言われています。その後、ペガサスは神話の中でも様々な活躍をしています。

ペガサス座は、この宇宙でも有数の騎士団で、私達と地球の守護をしてくれるペガサス騎士団の聖地です。アルゲニブがその聖都。マスターはすべてペガサスです。シェアトは、ペガサス座の入り口。騎士団の星。マルカブは、秘密基地です。アルフェラッツは、アンドロメダ座に属しますが、創造主がいる星で、このペガサスの四辺形を通して宇宙を見守っています。今回の闇の封印はここで行われました。エニフは、ペガヤデネブの「白鳥の六芒星」を形作る星で、アンドロメダやペガサスと白鳥を結ぶ交点です。

©スタディスタイル

○闇の力がペガサス座を襲う

白鳥の六芒星を開く旅は前回で、ハッピーエンドを迎えるはずでしたが、物語はとんでもない方向に発展していました。

それはメンバーのアチューメントの時に、何気なくペガサス座に行ってみようという、ペガサス座に行った時の事でした。

ペガサス座のシェアト星と呼ばれるペガサス騎士団の聖地の星に行ったとき、周りが暗くビジョンが見えないのです。

何かしら不吉な風が吹いているのを感じます。

浄化のマントラを唱えると少しは明るくなるのですが暗いままです。

メンバーにお願いして、ペガサス座に様子を見に行ってもらおうと、シェアト星が闇の影響を受けどんよりとしていること。

シェアト星のマスターのユニコーンペガサスが、闇の影響を受け悲しみの涙を流していることがわかりました。

すぐにひらめいたことは、アルタイル星の闇の力が、エニフ星を経由してこのペガサス座に逃れてきたということでした。

アルタイルが光の通路でつながれ、私達がアルタイルに入る直前に、闇の本源は、アルタイル星を抜け出しこのペガサス座に逃げてきたようです。

そういえば、ツバーンのシェンロン達がアルタイル星で空をぐるぐる回りながら、一生懸命何かを探していた様子が浮かびます。

もしかしたら、この闇の本源を探していたのかもしれない。

すぐに私もメンバーと共に、ペガサス座に向かいました。

シュアト星だけでなく、マルカブ星にも向かいました、

マルカブ星はここは基本的には宇宙船なので闇の影響はさほど大きくないようです。

その後このペガサス座の中心であるアルゲニブ星へ。

アルゲニブは 影響を受けていませんでした。

アルゲニブのマスターペガサスのもとには、闇の力も近づけなかったようです。

アルゲニブのマスターは巨大で美しい雄々しい星のユニコーンペガサスですが、ヒト型としても現れます。

今回も、紫色の衣をまとった男性マスターの姿で出てきました。

そして、闇の力について詳しく説明してくれました。

アルゲニブのマスターによると、先日アルタイルで私たちがマスターを解放する前に、アルタイルにいた闇がペガサス座のほうへ逃げて向かったということ。

ペガサスたちはとても優しい愛の生き物なので、闇のエネルギーの中にある深い悲しみに同調してしまうということをお聞きしました。

そして、アルゲニブのマスターペガサスは、ペガサスの四辺形の中に、闇のエネルギーの力を封印したらよいことを教えてくれました。

しかしそのためには、創造主の力と闇を封印する力を持つペルセウスさまのお力が必要なようです。

私達は、アルケイディス様にサポートをもらってペルセウス座のミルファク星に行きました。

ペルセウス様は本当に天空に届くような大きさの方ですが、武装してもう用意されていて、快くこの仕事を手伝うとおっしゃってくれました。

そしてアルゲニブに戻り、たくさんの大天使様たち、アテナ様やトゥバンの神龍たち、さそり座のアンタレス様たち、ペガサス騎士団のアトス様たち、みんなが集まりました。

○闇を2人の創造主の力によって封印する

まず四辺形の星、マルカブ、エニフ、シェアト、アルゲニブそれぞれの星に

大天使さまたち、ペルセウスさま、マスターさまたちが立ちました。

そして六芒星が引かれ、その真ん中に闇のエネルギーを召喚すると、闇は煙のように六芒星の真ん中に吸い込まれていきました。

そして、シェンロンたちが、物すごいスピードでこの4つの星を光の道でつなぐように走りました。

みんなで一気に走ると、ものすごい勢いで四角い光の柱がバーッと立ちあがりました。

すごいエネルギーです。

ある程度の高さまでいったとき、ペルセウスさまがギュッと蓋をするようにその光の柱を抑え、ふたをしました。

その四つ角（星）を大天使様たちがボルトを締めるよう固定していきます。

真ん中に紫色のような濃い色の巨大なクラスターのようなものが見え、闇を封印する「黒水晶」ではないかと思われます。

そこへペガサスの四辺形の一つであるアルフェラッ星の創造主と北極星（ポーラスター）の創造主が現れました。

このお2人は、真ん中でまず光の十字を描きました。

それを回転させながら伸ばしていき、四つ角を結ぶようにバツテンの形に封印の印がされました。

ペルセウスさまはこのままここをしばらく見守るそうです。

この闇を封印するのに多次元の存在が必要で、私たち人間ももちろん多くのマスターや天使たちの力が一つにならなければ、闇を封印することはできなかつたようです。

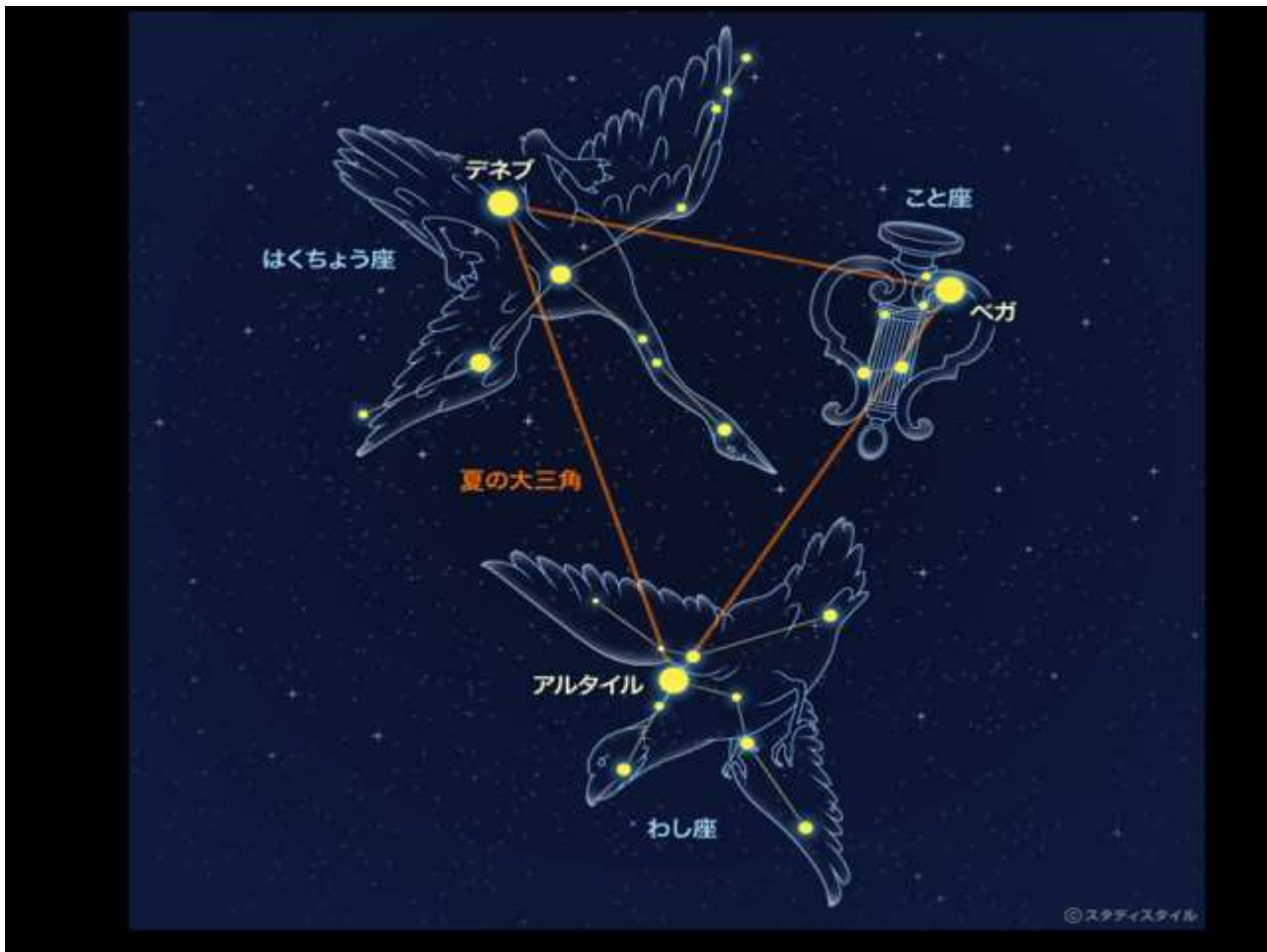
封印が終わり、マスターたちに御礼を述べ、シェアトに帰るとシェアトのペガサスユニコーンは元気を取り戻しつつあります。

みんなでシェアトにある癒しの泉へ行きました。

シェアト星のペガサスユニコーンとはとにかく大きいのですが、そこへドボンと飛び込むように浸かりました。

まだ少し足の先が黒かったので、そこにアスクレピオスのマスターを呼び、シェアト星のペガサスユニコーンに緑色のエネルギーを送りました。

アルケイディス様もみんなで浸かり、そこで終わらせていただきました。



○アルタイルへの再訪

アルタイルのマスターを救出してから、1週間がたちました。

私達は、アルタイルの様子を見に行くために、再度アルタイルに向かいます。

まずベガに降り立ち、マスターベガにご挨拶。

そこで、アルタイルのマスターが復活されて、星を再建する為に、他の星を回り、光を導いてもらえるようお願いしていることを聞かされました。

マスター達は救われたのですが、まだアルタイルに光とパワーが足りないようです。

私達に、サポートするようにお願いされました。

私達はアルタイルに向かいます。

アルタイルはとても寂しい荒野のように見えます。

大地の裂け目の所から、地下に神殿らしきものが見えますので、その中に入っていきます。

地下には、神殿らしきものがあり、そこで2人のビジョン様が待っています

2人というのは、私に助けを求めてきた女性のビジョンと名乗ったマスターとアルタイルの地下から救出されたマスターもビジョンであることを告げられました。

この2人は、心もスピリットも深くつながっていて、決して別々の存在ではないということです。

どちらかに話しかけても、同時にお2人に伝わっているということで、区別する必要がないといわれました。

私達は再会を喜び、マスターヴィジョンは、私達に丁寧に救出してくれたお礼を言い、再び過ちは繰り返さないとおっしゃられました。

私達は、共にアルタイルの再建のために力をつくすことを誓いました。

○アルタイルに星の住人と自然を取り戻す

私達はこのアルタイルに住んでいた存在達が、様々な星や別の次元に逃れていることをお聞きしましたので、最初に行くことは、このアルタイルに、星の人々を呼び集める事でした。

私は、白鳥座のデネブのマスターフェアリーにお願いして、多くの白鳥たちに、他の星に逃れている存在達を、このアルタイルに連れてきてくれるようお願いしました。

多くの白鳥たちがフェアリーと共に、デネブ星を飛び立ちました。

また私は、りゅう座のツバーンにお願いして、別の次元に逃れている存在達をドラゴン達の手で、アルタイルの次元に戻してくれるようお願いしました。

私達は、彼らがアルタイルの人達を連れ戻してくるまでにやらなければ、ならないことがあります。

それが、アルタイルの星のパワーを高めることです。

星の通路をさらにパワーアップし強大な光を星にいれていくためには、星の通路に多くのクリスタルを配置したり、クリスタルで通路を強化しなくてはなりません。

私はこの光の通路のために準備した 22k の巨大クリスタルのエネルギーの光りとパワーを、この白鳥の六芒星を繋ぐ光に通路に送り込みました。

キラキラとしたエネルギーが、光の通路に吸い込まれるように流れ込んでいきます。

メンバー達も、クリスタルの光を、白鳥の六芒星の中に満たすように、シェンロンに乗って光の通路を走りまわっています。

白鳥の六芒星全体が、光で輝きこの宇宙の中に美しく輝き始めます。

光りはどんどんアルタイル星の中に満ちてきます。

アルタイルの星が輝き始め元気を取り戻していくようです。

私達は、次にアルタイル星に自然を取り戻すことにしました。

私達のハートは、大天使メタトロン様の宇宙の図書館にもつながっています。

今日は手元にあった、カテドラルクリスタル、宇宙の図書館と呼ばれるクリスタルを手にもち、アルタイル星のビジョン様とハートを光りをつなぎます。

いつもはマスター達から、光の情報をもらうだけだったのですが、今回は、私の方から植物や生命の情報をマスターにおくることになりました。

私のハートからどんどん光がビジョン様のほうへ流れていきます。

そうすると、私達の足元から、緑の植物が、どんどん周りに広がっていきます。

その植物はアルタイル星の荒野を覆い、アルタイルを緑の星へと変えていくようです。

これには、私もちょっと驚きました。今までは、マスターから情報を受け取るだけだったのに、今度は情報を

送る方に回っています。

またメンバーたちも、ガイアの神殿を旅立つ前に、ガイアの生命力とパワーをアルタイルに持っていくように言われたようです。

アルタイルにも、大地の女神ガイアの愛と生命力が広がります。

○アルタイルの新しい始まり

アルタイル星に、豊かな自然が広がり始めたころ、アルタイルの星に白鳥たちが降り立ちました。

その白鳥の背から飛び降りてきたのは、なんととてもかわいい小人さん達でした。

白鳥座のフェアリーと一緒にあって、新しいアルタイルの星で大騒ぎです

外を見てみると地上に大きな光の塔のようなものが立ち輝いています。

その光輝く塔はアルタイルの再生を知らせる塔のようで、その輝きを目指して、多くの存在が集まってくるようです。

私達は、このアルタイル星に多くの天使達を呼び寄せました。

4大天使はもちろん、今回の旅で仲良くなった、大天使ラジエル様、大天使ザドキエル様

私達の前に現れ、直接私達とコンタクトを始め、光の情報とパワーを送ってくれる大天使メタトロン様、

他にも多くの天使たちがこの地に降り立ち、アルタイルの新生を手伝ってくれています

そしてほかの次元に逃げていた存在達も戻ってきました。

先週、アルタイルのマスターを救出するとき、壁に白い大きな玉が沢山おかれていることがとても気になっていたのですが、小人達はその白い球から出たり入ったりしています。

この玉は、アルタイルのこの次元と異なる次元を結ぶための出入口のような働きがあるのかもしれませんが。

またこの玉は、宇宙の星が生まれた時に、その星の多様な次元を作るためにも使われるそうです。

沢山の小人達が、アルタイルの星にやってきました。

昔からみんな仲間たちの様です。再会を喜び合い、歌ったり踊ったりしています。

そしてみんなで、いろんなものを作り始めました。

ビジョン様は、アルタイルの働きに関しても語ってくれました。

このアルタイルは、宇宙の様々な星の次元に光を送るために使用されるそうです。

白鳥の六芒星の星達は、創造主の星から、天使が存在する星、ドラゴンが存在する星、フェアリーが存在する星、水中生命が存在する星など多様な存在と次元があります。

それらの星の光を紡ぎながら、宇宙の中で新しく生まれる星達や新しい次元に対して光を送るそうです。

私達の地球も、成長する過程において、このアルタイルからたくさんの光を受けとり、他次元にわたるスピリチュアルな次元が出来上がってきたそうです。

アルタイルは、再びその力を取り戻します。

宇宙のいくつもの星に、再び次元を整え活性化するための光を送るために、準備を始めるようです。

アルタイル星が再び活動し始めたら、この宇宙の多様な次元は再び美しく整い光輝き始める事でしょう。

アルタイルのマスター達は、ビジョンと呼ばれていますが、それは新しいビジョンを私達に見せてくれ、新しい次元や新しい世界、新しい可能性を開くために必要な力をもたらしてくれるための様です。

私達は、仕事が終わった後に、ビジョン様から、私達のハートとサードアイを開き、私達がビジョンを見る能力を高めてもらうことにしました。

見えない世界を見る力、自分の内なる真実を知る力をくださいと、ともに祈りました

私達の、ハートに美しい光が輝き始めます。

私達もどんどん再生していくようです。





○アルタイル星に残る闇の根っこの除去

メンバーの一人から連絡がありました。

「アルタイル星の惑星の心臓と思われる部分に、闇の根が絡んでいて心臓を締め付けています。この根をそのままにしていたら、また闇が復活する恐れがあるので、ラスアルハゲ星のマスターであるアスクレピオス様に取り除いてもらわなければならないようです。」

前回アルタイルの星の再生に、白鳥の六芒星の仲間が、一緒になって頑張ってくれた星を、また闇の手に渡すわけにはいきません。

私達は急いでこの闇の根っこの撤去作業を行うことにしました。

闇の根は、星の魂である心臓に寄生して、星の命を吸い取っていくようです。

まずその前に、このことに関して相談を行うために天使の星へ。

天使の星では、天使の長老から、闇の根を除去した後に、この種を植えなさいと、チュリップの球根のような大きな種をいただきました。

そしてこの作業を手伝うために、大天使ラジエル様が同行してくれました。

その種を持って、私達はアルタイルへ向かいます。

アルタイルのマスターであるビジョン様とお話をしますと、ビジョン様はそのことを知らなかったようで大変驚かれました。

自分たちも準備をしておくので、よろしくお願ひしますと頼まれます。

私達は、もともと医者であるアスクレピオス様の待つラスアルハゲ星に向かいます。
アスクレピオス様の神殿ではもうすでに準備がしてあり、迷彩服のような格好の特殊部隊がそばに控えています。

今回は、アルタイルの惑星の心臓に内視鏡のようなものを取り付けて、闇の根っこを取り外していくようです。
私達は、天使の長老から預かった種をアスクレピオス様に渡すと、特殊部隊と共にアルタイルへと戻ります。

アルタイルにつくとすぐに作戦開始。

大天使ラジエルが、特殊部隊に制限時間を知らせる砂時計を渡すとともに、大地の中から地下に続く階段を表します。

私達は、その階段を下りて、惑星の中心に向かうと、海のような水辺につきます。

大天使ラジエル様は、水を二つに分け、その間にトンネルを作ります。

特殊部隊が、その通路を走り抜け、向い側にある心臓のような巨大なものに、何か器具を取り付けています。

特殊部隊は、器具を取り付けるとすぐに戻り、海のこちら側で待機しています。

私達は、そこからアスクレピオス様の神殿へと戻ります。

驚いたことに、そこは現代のハイテクな医療室のようです。

大きなモニターが何台もあり、そこにアルタイル星の心臓の様子があらゆる角度から写し出されています。

アスクレピオス様はマジックハンドのようなものを操作して、闇の根をピンセットのようなもので丁寧に取り除いています。

さすが大天使ラジエル様が加わると魔法の世界です。

闇の根の除去が終わると、特殊部隊は、すぐに心臓に取り付けられた機会をはずし、開いた傷口を縫合しています。

その作業が終了すると、階段から急いで撤退しています。その早いこと！！

これで、アルタイルの心臓から闇の根は取り除かれたのでひと安心。

○癒しの源と天使やマスター達の学校

アスクレピオス様にお礼を言って帰ろうとすると、このタイルに乗りなさいとアスクレピオス様が言ってくれました。

タイルに乗ると光の通路をどんどん移動していきます。

それもかなり長い時間、いろんな世界をくぐり抜けたような感じです。

ついたところは、洞窟のような世界、そこに清らかな水が流れています。

誰か長老のような方がいらっしゃいます。

「ここはどこですか」と聞くと、「癒しのエネルギーの源だよ」と答えられました。

そして、その場所を案内してもらうと共に、癒しのエネルギーについてお話を聞かせていただきました。

その洞窟のような場所を抜けると、驚いたことに学校があります。

先ほどの、特殊部隊のような人達が、腕立て伏せなどをして、体を鍛えています。

ここは癒しの学校の中でも、お医者さんのような人たちがたくさんいる学校のようにです。治療に関する知恵と技術だけでなく、体力と気力も養っているようです。

私達が通常行っている感情や意識の癒しではなく、外科治療のような特殊な治療を学ぶ学校のようにです。先ほどの、アルタイルの治療も見てわかりますが、スピリチュアル界においてもそのスピリットのフィジカルな面を治療する場合もあるようです。

この場所で私達は、宇宙にはいくつものスクールがあることを知らされました。

それは癒しの学校だけでなく、宇宙の真理や人間世界の秘密を学んだり、魔法の練習をしたり、多岐にわたっているようです。

そしてその学校には、魂の縁がある人はもちろん、そうでない人も希望することによって入学できるそうです。もちろん、その人の魂の傾向や過去世での経験等を踏まえて、天使やマスター達が入学を決めてくれるそうです。

私達は一つの冒険をとおして、多くの事を学んでいくのですね。

○闇のエネルギーが噴火する

前回、アルタイル星の心臓部分に残っていて、星のエネルギーを吸い尽くす闇の根を、アスクレピオス様の活躍により無事に除去することができてほっとしていました。

エンジェルレイのアチューメントが終了してから、メンバーのシェンロンにどこか行きたい場所がありますか？

と尋ねたら、シェンロンは即座に「アルタイル星」と答えます。

アルタイルで、まだすることがあるのかな？と思っていた私。

しかし最近の様子を見て、私達が行うべきことは、ただアルタイルのマスターを救出することだけでなく、一度闇の支配におかれた星を、光の星にしていくためには、どのようにしたらよいかということ、学ぶ必要があることを知りました。

まるで、これからの地球を光りの星にするために、多くの事を学ばせていただいているようです。

これが、おそらく大天使メタトロン様の学校なのでしょうか

それでは、アルタイル星が光の星へと変わる過程を、皆さんにお話ししましょう。

一緒にアルタイル星に行ってくれたメンバーの感想をもとに構成してあります

○アルタイルの再建を手伝う

TAKESHI さんがシェンロンに行きたい場所がありますかと聞くと、

すぐに「アルタイル、アルタイル、アルタイル」と何度も聞こえました。

私は「アルタイルは TAKESHI さんと皆さんがすでにマスターを救出したりして、光の星になるようにしてきたから、今更行かなくても…」と思ったのですがとにかく「アルタイル」と聞こえるので、TAKESHI さんの誘導で行くことにしました。

アルタイルにつくと、沢山の存在たちが、空を飛び交ったり、忙しそうに何かの仕事をしていました。光の星を建設中というかんじでした。

TAKESHI さんが、アルタイル星のマスターであるビジョン様にお会いして、アルタイルの星の様子を聞き、手伝いが必要だということで、いつもの仲間たちを呼びました。

ペガサス騎士団やさそり座のアンタレス様、アウディケウス様などが沢山集まりました。

TAKESHI さんがビジョン様に「他にすることはありますか？」と聞くと、ビジョンさまが指をさした向こうに、藤壺の形をした、大きな黒い岩でできた島が見えました。

○闇のエネルギーを光り変える銀の箱

黒い煙がその藤壺の真ん中から噴き出しています。

それは、闇の力の残りという感じで、そのふじつぼ火山の上空にいくと、赤黒いマグマのような、でも粘着質などろがうごめいて、時々黒い煙をぶわーっと吐いていました。

それをどうしたらよいか聞くと、光のふたをすると、いつかまた噴出するから、その黒い岩でできたふじつぼ火山の下のほうから光でその黒い粘着質のどろどろを押し上げ、光の玉にいれて、光に還すイメージが浮かびました。

そして、TAKESHI さんがホビットを沢山呼び寄せると、その小さい人たちが沢山の銀色の箱をもってきました。

手伝いにきていた大天使ラジエルとザドキエルが魔法を使って、その沢山の箱を次々に大きな一つの四角い箱にしていきます。

すると、その火山の周りを大きな四角い銀色の反射板でできたような箱が取り囲みました。

黒い岩でできた火山はみんなの光によって透明なガラスになっていきます。

アルタイルを光の星にするために働いていた人たちもその建設の手を休め、全員その火山と箱の周りにどんどん集まります。

ものすごい人々（光の存在と、神々）です。フェアリーとか、ホビットとか、ペガサスとか、騎士とか、とにかく大きな人も小さな人も沢山です。

そして光を送ると、その四角い箱の中の黒い粘着質なかたまりが気化して、蒸気のようになって箱から出ていきます。

黒いかたまりはどんどん小さくなっていきます。

それに伴い、それを囲んでいる箱も小さくなります。

みんなでどんどん光を送ると、黒いかたまりと光が絡んでうずをまきはじめ、陰陽のマークが見えました。

「天地創造」という言葉が浮かんでいました。

TAKESHI さんが新しいマントラを言うと、その陰陽のマークがものすごい光を発して光の爆発みたいになり、パーンとはじけました。

するとその光が星の上空にキラキラと散っていきました。

沢山の光の存在たちが喜んでいました。

その火山の跡地には、ハスの花が一つだけさいて、その花びらの一枚一枚がぐいーんと伸びて、星を覆いました。

TAKESHI さんが大国主大神と天のウズメをおよびし、労をねぎらうために神々や光の存在たちの大宴会をひらくことになりました。

私は地球代表として参加させていただきましたが、神々の宴会はスケールが違い、豪華さや大きさやにぎやかさがものすごくて人間の私には少ししかいられませんでした。割とすぐに帰ってきました。

エネルギー爆発！な喜び、楽しみ、な宴会でした。